



2024年3月期 第2四半期決算短信[IFRS](連結)

2023年11月9日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・CFO
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 安藤 宏基
(氏名) 矢野 崇
配当支払開始予定日

TEL 03-3205-5111
2023年11月29日

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	350,370	10.5	47,609	68.1	44,903	66.1	46,476	65.6	32,010	84.2
2023年3月期第2四半期	316,954	15.2	28,324	4.4	27,032	0.7	28,059	0.7	17,382	1.5

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2024年3月期第2四半期	315.84		313.88	
2023年3月期第2四半期	170.87		169.84	

※既存事業コア営業利益について
当社は2022年3月期より既存事業コア営業利益を開示しております。既存事業コア営業利益とは新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除した指標です。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
2024年3月期第2四半期	789,223		523,425		482,535		61.1	
2023年3月期	708,374		467,949		430,427		60.8	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	65.00	—	75.00	140.00
2024年3月期	—	80.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	120.00	200.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	720,000	7.6	80,000	32.9	73,500 ～76,500	32.1 ～37.5	53,500 ～55,500	19.5 ～24.0	528 ～548

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2024年3月期の連結業績予想については、既存事業コア営業利益の5～10%の範囲内で積極的な新規事業投資を行っていくため、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	102,861,500 株	2023年3月期	102,861,500 株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,508,599 株	2023年3月期	1,515,187 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	101,352,680 株	2023年3月期2Q	101,730,458 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(報告企業)	13
(作成の基礎)	13
(重要性がある会計方針)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比10.5%増の3,503億70百万円となりました。利益面では、既存事業コア営業利益(注1)は前年同期比68.1%増の476億9百万円、営業利益は前年同期比66.1%増の449億3百万円、税引前四半期利益は前年同期比65.6%増の464億76百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比84.2%増の320億10百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益では前年同期比8.1%増の3,424億81百万円、既存事業コア営業利益は前年同期比63.4%増の462億74百万円となりました。(注2)

当社グループは、2030年に向けた「中長期成長戦略2030」に基づき、ビジョンの実現と持続的成長に向け、成長戦略テーマである①既存事業のキャッシュ創出力強化、②EARTH FOOD CHALLENGE 2030、③新規事業の推進に取り組んでおります。

(注1) 既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益および非経常損益としての「その他収支」を控除したものであり、中長期成長戦略上2022年3月期以降積極的かつ継続的な先行投資を予定する新規事業にかかる損益を分離し、その成長投資の基盤となる既存事業の実質的な成長を測定することを目的に採用している指標であります。

(注2) 2024年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期	
	自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	金額	%
売上収益	316,954	350,370	33,415	10.5
既存事業コア営業利益	28,324	47,609	19,284	68.1
営業利益	27,032	44,903	17,870	66.1
税引前四半期利益	28,059	46,476	18,417	65.6
親会社の所有者に帰属する四半期利益	17,382	32,010	14,628	84.2

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間において、当社グループにおける事業管理区分の見直しにより、従来、「その他」に含めていた「ニッシンフーズベトナム CO., LTD.」について、「中国地域」に含めて記載する方法に変更しております。

以下の前年同期比較は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類、袋めん類、カップライス類が堅調に推移し、価格改定効果もあり、各カテゴリーとも前年同期比で増収となりました。カップめん類では、2023年8月に発売した「カップヌードル 担担」や、2023年9月発売の「特上 カップヌードル」シリーズをはじめ、お客さまニーズを捉えた商品が順調に推移しています。袋めん類では、発売65周年商品である「チキンラーメン」をはじめとするロングセラー商品等が売上を伸ばし、増収に寄与しました。カップライス類は、「日清カレーメシ」シリーズが引き続き好調を維持しています。利益面では、原材料価格の上昇等によるコストアップ要因がありましたが、増収効果により増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比5.8%増の1,078億3百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比1.7%増の153億44百万円、営業利益は、前年同期比2.3%増の153億92百万円となりました。

②明星食品

明星食品(株)の販売状況は、カップめん類、袋めん類とも、前年同期比で増収となりました。

カップめん類では、2023年3月に新発売した「ロカボNOODLESおいしさプラス」が好調に推移したほか、2023年9月に新発売した「明星 贅沢一平ちゃん夜店の焼そば」も貢献しました。また、三枚看板ソースでさらに香ばしくなった「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」や「明星 チャルメラカップ」「明星 中華三昧」シリーズなど、主力ブランドが順調に推移し、増収に寄与しました。

袋めん類では、「ホッとする味わい」の訴求を強化した「明星 チャルメラ」シリーズが売上を伸ばしました。

利益面では、価格改定による増収要因がありましたが、原材料価格上昇や広告宣伝費の増加等により、前年同期比で減収となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比5.6%増の203億52百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比15.8%減の11億66百万円、営業利益は、前年同期比13.9%減の12億5百万円となりました。

③低温・飲料事業

チルド事業は、猛暑の影響や積極的な販売施策により冷し中華群の売上が好調であったほか、焼そば群、パスタ群が伸長し、前年同期比で増収となりました。パスタ群では、新商品の「日清Spa王」が売上に大きく貢献しました。利益面では、原材料価格上昇等によるコストアップがあったものの価格改定が奏功し、前年同期比で増収となりました。

冷凍事業は、ラーメン類、うどん類が堅調に推移し、価格改定効果もあり、前年同期比で増収となりました。ラーメン類では「冷凍 日清中華」、「冷凍 日清まぜ麺亭」シリーズが好調でした。利益面では、原材料価格の上昇等によるコストアップ要因がありましたが、増収効果により増収となりました。

飲料事業は、乳酸菌飲料である「ピルクル400」シリーズが好調に推移し、更に2022年9月に発売した“睡眠の質を改善し、疲労感を軽減する”「ピルクル ミラクルケア」がプラスオンとなり、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比12.5%増の467億73百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比196.3%増の50億83百万円、営業利益は、前年同期比229.6%増の51億30百万円となりました。

④菓子事業

菓子事業では、日清シスコ(株)は発売から60年を迎える「シスコーン」シリーズの販売やプライベートブランドが堅調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。ぼんち(株)の販売状況は、主力商品の「ピーナツあげ」が堅調に推移しましたが、全体では前年を僅かに下回り、また原材料高騰等の影響も受けたことで減収減益となりました。(株)湖池屋においては「湖池屋ポテトチップス」シリーズや「スコーン」シリーズ等の主力商品を中心に販売が拡大したことに加え、価格改定が奏功し、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比16.1%増の408億80百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比131.8%増の29億26百万円、営業利益は、前年同期比123.1%増の28億21百万円となりました。

⑤米州地域

米州地域全体では、引き続き新たな需要創造に向けた付加価値商品の提案強化や導入推進に加えて価格改定も寄与し、増収増益となりました。

売上については、米国で昨年8月に実施した価格改定後も底堅い即席めん需要が続く中、普及価格帯商品の販売が堅調に推移したことに加え、継続的な高付加価値商品の販売強化に取り組んだことで増収、ブラジルでは一時的な生産設備の大型メンテナンスによる販売数量減があったものの、価格改定効果や昨年8月より販売開始した「U.F.O.」の売上伸長も寄与し、増収となりました。

利益については、主要原材料等の各種コスト上昇が落ち着きつつあることや、価格改定による増収効果、為替影響等によりセグメント全体で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比16.2%増の767億9百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比206.3%増の132億48百万円、営業利益は、前年同期比207.2%増の132億35百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比7.3%増の708億33百万円となり、コア営業利益は、前年同期比186.1%増の123億75百万円となりました。(注4)

⑥中国地域

中国地域においては、販売エリア拡大と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に引き続き取り組んでいます。中国大陸の景気は緩やかに回復しているものの、家計消費の先行き不透明感が続いています。また、香港は中国大陸からのインバウンド旅行客の増加により景気が徐々に回復しています。こうした状況の下、売上は、2023年7～9月期の即席めんの販売数量は回復しましたが上期全体では即席めんの販売数量が伸び悩み、前年同期比で減収となりました。営業利益は、上期の原材料費の低下や2023年7～9月期の即席めんの販売数量回復によって前年同期に計上した一過性の政府補助金による利益の反動減をほぼ吸収し、前年同期並みの水準となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比2.4%減の329億36百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比6.1%増の35億27百万円、営業利益は、前年同期比0.8%減の38億12百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比3.9%減の324億32百万円となり、コア営業利益は、前年同期比5.7%増の35億11百万円となりました。（注4）

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んだ「その他」の売上収益は、前年同期比29.4%増の249億14百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比158.9%増の75億82百万円、営業利益は、前年同期比168.7%増の75億29百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比21.6%増の234億5百万円となり、コア営業利益は、前年同期比143.7%増の71億37百万円となりました。（注4）

（注3）コア営業利益とは、営業利益から非経常損益としての「その他収支」を控除したものであります。

（注4）2024年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ808億48百万円増加し、7,892億23百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に有形固定資産が206億62百万円、持分法で会計処理されている投資が129億11百万円、棚卸資産が121億57百万円、現金及び現金同等物が117億48百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ253億73百万円増加し、2,657億97百万円となりました。これは主に流動負債の借入金が86億72百万円、未払法人所得税が72億2百万円増加したことによるものであります。

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ554億75百万円増加し、5,234億25百万円となりました。これは主にその他の資本の構成要素が264億9百万円、利益剰余金が257億60百万円増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の60.8%から61.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月10日に公表いたしました通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2023年11月9日）公表いたしました「2024年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	87,388	99,136
営業債権及びその他の債権	101,483	109,021
棚卸資産	57,187	69,344
未収法人所得税	2,092	456
その他の金融資産	10,770	14,301
その他の流動資産	7,240	14,531
流動資産合計	266,162	306,792
非流動資産		
有形固定資産	265,839	286,501
のれん及び無形資産	11,651	11,478
投資不動産	7,224	7,194
持分法で会計処理されている投資	87,538	100,450
その他の金融資産	51,022	57,701
繰延税金資産	13,737	13,727
その他の非流動資産	5,199	5,376
非流動資産合計	442,211	482,430
資産合計	708,374	789,223

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	140,346	144,655
借入金	12,948	21,621
未払法人所得税	4,474	11,677
その他の金融負債	5,007	4,677
その他の流動負債	21,981	23,217
流動負債合計	184,758	205,849
非流動負債		
借入金	23,272	20,613
その他の金融負債	14,850	16,996
退職給付に係る負債	5,092	5,154
引当金	484	488
繰延税金負債	9,418	14,078
その他の非流動負債	2,547	2,616
非流動負債合計	55,665	59,948
負債合計	240,424	265,797
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	43,585	43,476
自己株式	△11,431	△11,383
その他の資本の構成要素	34,003	60,413
利益剰余金	339,147	364,907
親会社の所有者に帰属する持分合計	430,427	482,535
非支配持分	37,522	40,889
資本合計	467,949	523,425
負債及び資本合計	708,374	789,223

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	316,954	350,370
売上原価	212,250	225,806
売上総利益	104,703	124,564
販売費及び一般管理費	79,813	86,403
持分法による投資利益	1,948	6,712
その他の収益	857	788
その他の費用	663	759
営業利益	27,032	44,903
金融収益	1,651	1,969
金融費用	623	396
税引前四半期利益	28,059	46,476
法人所得税費用	9,241	12,211
四半期利益	18,817	34,265
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	17,382	32,010
非支配持分	1,435	2,254
四半期利益	18,817	34,265
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	170.87	315.84
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	169.84	313.88

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	167,691	183,900
売上原価	112,099	117,321
売上総利益	55,591	66,579
販売費及び一般管理費	42,732	46,180
持分法による投資利益	1,115	3,576
その他の収益	306	397
その他の費用	506	349
営業利益	13,775	24,023
金融収益	615	756
金融費用	322	264
税引前四半期利益	14,067	24,515
法人所得税費用	3,471	5,391
四半期利益	10,595	19,123
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	9,852	17,979
非支配持分	743	1,144
四半期利益	10,595	19,123
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	97.10	177.40
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	96.50	176.30

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	18,817	34,265
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	4,018	5,894
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△104	307
純損益に振り替えられることのない項目合計	3,914	6,201
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	149	△29
在外営業活動体の換算差額	10,217	15,499
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	11,561	8,035
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	21,928	23,506
税引後その他の包括利益	25,842	29,708
四半期包括利益	44,660	63,973
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	40,888	59,713
非支配持分	3,771	4,260
四半期包括利益	44,660	63,973

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	10,595	19,123
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	△860	1,418
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△86	△19
純損益に振り替えられることのない項目合計	△947	1,399
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	62	△18
在外営業活動体の換算差額	2,788	3,771
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	10,080	5,714
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	12,931	9,467
税引後その他の包括利益	11,983	10,866
四半期包括利益	22,579	29,990
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	21,413	28,181
非支配持分	1,166	1,809
四半期包括利益	22,579	29,990

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日 残高	25,122	49,862	△11,828	2,629	2,398	66	40,343
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	7,878	147	4,022
四半期包括利益合計	—	—	—	—	7,878	147	4,022
自己株式の取得	—	△17	△9,789	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△11	24	△13	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	38	—	317	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△579	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△22,649
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△569	△9,765	303	—	—	△22,649
2022年9月30日 残高	25,122	49,293	△21,594	2,933	10,277	213	21,717

	親会社の所有者に帰属する持分						
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分			その他の資本の構成要素		非支配持分	合計
	合計	利益剰余金	合計	合計			
2022年4月1日 残高	△215	45,221	299,281	407,660	36,930	444,590	
四半期利益	—	—	17,382	17,382	1,435	18,817	
その他の包括利益	11,457	23,506	—	23,506	2,336	25,842	
四半期包括利益合計	11,457	23,506	17,382	40,888	3,771	44,660	
自己株式の取得	—	—	—	△9,807	—	△9,807	
自己株式の処分	—	△13	—	0	—	0	
配当金	—	—	△6,146	△6,146	△2,444	△8,591	
株式に基づく報酬取引	—	317	—	355	—	355	
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△579	△756	△1,336	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△3	△22,652	22,652	—	—	—	
その他の増減	—	—	7	7	△55	△48	
所有者との取引額合計	△3	△22,348	16,514	△16,169	△3,257	△19,427	
2022年9月30日 残高	11,237	46,378	333,178	432,379	37,444	469,823	

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2023年4月1日 残高	25,122	43,585	△11,431	2,933	6,655	33	20,796
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	13,503	△31	5,885
四半期包括利益合計	—	—	—	—	13,503	△31	5,885
自己株式の取得	—	—	△4	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	52	△32	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	80	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△189	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△910
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△109	47	△32	—	—	△910
2023年9月30日 残高	25,122	43,476	△11,383	2,900	20,159	2	25,772

	親会社の所有者に帰属する持分					
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分			その他の資本の構成要素		
	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計	
2023年4月1日 残高	3,584	34,003	339,147	430,427	37,522	467,949
四半期利益	—	—	32,010	32,010	2,254	34,265
その他の包括利益	8,343	27,702	—	27,702	2,006	29,708
四半期包括利益合計	8,343	27,702	32,010	59,713	4,260	63,973
自己株式の取得	—	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	△32	△19	0	—	0
配当金	—	—	△7,600	△7,600	△1,095	△8,696
株式に基づく報酬取引	—	—	—	80	—	80
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△189	108	△81
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△349	△1,259	1,259	—	—	—
その他の増減	—	—	110	110	93	203
所有者との取引額合計	△349	△1,292	△6,250	△7,604	△893	△8,498
2023年9月30日 残高	11,579	60,413	364,907	482,535	40,889	523,425

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日清食品ホールディングス株式会社(以下、当社)は日本に所在する株式会社です。当社の登記されている本社及び主要な事業所の住所は、当社のウェブサイト(<https://www.nissin.com/jp/>)で開示しております。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及び子会社(以下、当社グループ)、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。

当社グループの事業内容及び主要な活動は、注記(セグメント情報)に記載しております。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨に関する事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IAS第34号に準拠して作成しております。

なお、本要約四半期連結財務諸表は、2023年11月9日に取締役会によって承認されております。

(2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、単位を百万円としております。また、百万円未満の端数は切捨てて表示しております。

(重要性がある会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度において適用した会計方針と同一であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

第1四半期連結会計期間において、当社グループにおける事業管理区分の見直しにより、従来、「その他」に含めていた「ニッシンフーズベトナム CO., LTD.」について、「中国地域」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結会計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

当社グループは、持株会社制を採り、国内8事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業、低温・飲料事業、菓子事業を展開し、「日清食品」、「明星食品」、「低温・飲料事業」、「菓子事業」、「米州地域」、「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」、「明星食品」、「米州地域」、「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温・飲料事業」はチルド製品、冷凍製品及び飲料製品を製造販売し、「菓子事業」は菓子製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、(重要性がある会計方針)における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	101,862	19,271	41,589	35,209	66,019	33,749	297,702	19,252	316,954	—	316,954
セグメント間の内部売上収益又は振替高	764	2,810	360	224	17	1,172	5,349	18,855	24,204	△24,204	—
計	102,626	22,081	41,950	35,433	66,036	34,922	303,051	38,107	341,159	△24,204	316,954
セグメント利益 (営業利益)	15,051	1,400	1,556	1,264	4,308	3,842	27,425	2,802	30,227	△3,195	27,032
金融収益											1,651
金融費用											623
税引前四半期利益											28,059
その他の項目											
減価償却費	6,925	1,109	1,239	1,419	775	1,404	12,873	1,613	14,487	16	14,503
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	1,948	1,948	—	1,948
資本的支出	4,330	624	1,016	835	2,914	1,677	11,399	1,254	12,654	△3	12,650

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,195百万円には、セグメント間取引消去等△120百万円、グループ関連費用△3,074百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	107,803	20,352	46,773	40,880	76,709	32,936	325,455	24,914	350,370	—	350,370
セグメント間の内部売上収益又は振替高	758	3,032	395	258	20	1,609	6,074	20,508	26,583	△26,583	—
計	108,562	23,384	47,168	41,139	76,730	34,545	331,530	45,423	376,953	△26,583	350,370
セグメント利益 (営業利益)	15,392	1,205	5,130	2,821	13,235	3,812	41,598	7,529	49,127	△4,224	44,903
金融収益											1,969
金融費用											396
税引前四半期利益											46,476
その他の項目											
減価償却費	7,197	1,053	1,268	1,454	1,136	1,577	13,687	1,577	15,265	24	15,289
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	6,712	6,712	—	6,712
資本的支出	4,562	788	662	2,473	14,300	2,770	25,558	4,128	29,687	△42	29,644

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4,224百万円には、セグメント間取引消去等△300百万円、グループ関連費用△3,924百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前第2四半期連結会計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	54,071	10,014	21,235	17,647	36,119	18,028	157,117	10,574	167,691	—	167,691
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	348	1,483	181	135	7	619	2,774	9,716	12,490	△12,490	—
計	54,420	11,497	21,416	17,782	36,126	18,648	159,891	20,290	180,182	△12,490	167,691
セグメント利益 (営業利益)	7,337	510	533	472	3,034	1,977	13,866	1,464	15,330	△1,555	13,775
金融収益											615
金融費用											322
税引前四半期利益											14,067
その他の項目											
減価償却費	3,467	562	643	715	405	715	6,510	793	7,304	10	7,314
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	1,115	1,115	—	1,115
資本的支出	2,340	456	478	486	1,701	1,143	6,607	736	7,343	—	7,343

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,555百万円には、セグメント間取引消去等△18百万円、グループ関連費用△1,537百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	56,355	10,388	23,559	20,129	42,276	18,076	170,786	13,114	183,900	—	183,900
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	411	1,500	209	137	8	832	3,100	10,578	13,678	△13,678	—
計	56,767	11,889	23,768	20,267	42,284	18,908	173,886	23,692	197,578	△13,678	183,900
セグメント利益 (営業利益)	8,222	668	2,423	1,217	6,972	2,420	21,926	4,130	26,056	△2,032	24,023
金融収益											756
金融費用											264
税引前四半期利益											24,515
その他の項目											
減価償却費	3,675	526	639	724	625	857	7,049	786	7,835	16	7,851
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	3,576	3,576	—	3,576
資本的支出	1,854	454	423	1,699	2,827	799	8,058	2,381	10,440	—	10,440

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,032百万円には、セグメント間取引消去等△70百万円、グループ関連費用△1,962百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。